

今後の市政運営について

谷 幸代 議員

問

① 今回の衆議院議員総選挙の結果をどう受け止めているか② 全国知事会などが、各党のマニフェスト、特に地方分権改革に関する評価や発言が注目されたが、これらの首長の動きをどう認識しているのか③ 暫定税率、直轄事業負担金の廃止などによる公共事業の見直し等に対する認識、社会保障分野の国民健康保険、後期高齢者医療制度の再編や子ども手当創設の認識、農業の戸別所得補償制度等についての市長の認識は④ 地方分権改革について、それぞれ伺いたい。

答

① 特別国会において、政権交代が現実のものとなったことは、国民の政治に対する不満と国政に変化を求めた結果であり、市民生活にも大きく影響してくるものと思っている。② 各党のマニフェストに地方分権などのテーマが盛り込まれ、少子高齢化に伴う社会保障を中心とする行政サービスが増大する中で、地方にとって安定的な財源確保が極めて重要であることが

明確になった点では、大きな一歩になったと思う。③ 政権公約の段階であるため、今後の動向に十分留意していく。④ 今回の総選挙の争点となったことは国民的な議論を呼び起こすという意味において大変有意義であったと思う。
(政策調査課)

熊谷市の観光行政について

新井 宏 議員

問

① メディアを活用した観光客の拡大② 観光事業者へのアプローチと本市のPR③ 新しい観光資源の掘り起こしや広域的な連携について、それぞれ伺いたい。

答

① テレビドラマ等の影響は非常に大きく、観光客を迎えるきっかけになっている。本市においても、フィルムコミッション等を通して、制作者側と協力し、作品を活用した本市の活性化、観光振興、交流人口の拡大につながるきっかけとしたい。② これまでは祭やイベントの比重が高かったが、今後は、いつでも楽しむことができる観光施策が必要と考える。観光

問

事業者と協議を行い、観光振興につながる方策を研究していく。③ 広域エリア内の施設や産物を活用し、多様性や回遊性を観光客に提供することは、新たな誘客の要素になると考えられるので、広域的な連携の可能性について研究していく。
(商業観光課)



天聖山 妻沼

光熱費の経費削減について

山田 忠之 議員

問

① 昨年の市役所の電気料② 電球・蛍光灯の費用③ LEDの使用④ インバーターへの変更について、それぞれ伺いたい。

「熊谷文化創造館『さくらめいと』の運営について」

答

① 本庁舎二千四百三万円、大里庁舎四百三十一万円、妻沼庁舎七百一十一万円、江南庁舎は、保健センターを含み千四万円である。② 本庁舎二十一万三千元、大里庁舎一万八千元、妻沼庁舎四万四千元、江南庁舎六万八千元である。③ LED照明には省電力、長寿命というメリットと、高価格等というデメリットがあり、今後、導入に向けて比較検討していきたい。④ インバーター蛍光灯は、従来の蛍光灯に比べ消費電力が最大三割削減されるといわれている。本庁舎と江南庁舎は既にインバーター蛍光灯を導入しており、大里、妻沼庁舎については、今後、老朽化した蛍光灯の取り替え時に順次インバーター蛍光灯に切り替え、経費削減に努めていきたい。
(庶務課)

問

① 地籍調査の進捗状況② 実施の繰り上げと調査面積の拡大(吉岡地区)に

ついて③ 測量の精度について、それぞれ伺いたい。

① 旧大里町、旧妻沼町は調査が終了している。旧江南町は市街化調整区域が終了しており、旧熊谷市では、計画面積五十八・八五平方キロメートルのうち、二十八・〇二平方キロメートルが調査済みである。現在、小島地区、吉岡地区で実施している。② 吉岡地区は、十地区に区割りした計画区域を定め、現在、万吉地内を実施している。実施地区の繰り上げ、および調査面積の拡大については、国庫補助事業であることから、国および県予算の動向を注視しつつ、本市の財政状況を勘案しながら努力していきたい。③ 平成三年度以降、光の反射を利用した測量機器により、距離と角度を正確に測定し、土地境界の位置を地球上の座標値として記録しているため、境界杭等が失われても高い精度で復元することが可能となっている。
(農地整備課)

④ その他の質問項目
「和田吉野川及び和田川の改修進捗状況について」ほか

交通安全宣言都市・くまがや

非核平和宣言都市・くまがや